

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

成人期特発性側弯症における若年期（20－30 歳台）と中年期（40－50 歳台）における手術成績の比較検討

2. 研究責任者(当院)

所属： 整形外科

氏名： 飯島靖

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名： 該当なし

代表名： 該当なし

3. 分担研究者

所属： 整形外科

氏名： 小谷俊明、佐久間毅、井上翔

4. 研究対象者

聖隸佐倉市民病院において特発性側弯症に対して手術を施行した方

5. 研究の必要性

特発性側弯症のほとんどは思春期に手術加療が行われるが、手術を希望せず経過観察となった症例や思春期以降にカーブが進行した症例に対して成人期に手術を要することがある。成人期側弯症の問題点は加齢による腰椎椎間板変性や矢状面バランス不良により、より高い侵襲を要する手術加療となってしまうことである。当院では過去に、成人期特発性側弯症で腰椎側方すべりがみられる年齢のカットオフを 37 歳と報告した。今回、成人期特発性側弯症に対して、若年期（20-39 歳）と中年期（40-59 歳）に分けて手術成績を比較検討する。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究によって研究対象者に新たに生じる影響はない。

今回の研究の結果を示すことによって、成人期側弯症に対して若年期での手術加療の利点を具体的に患者に提示することができ、より良い適正な治療を患者に提供できるようになる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：小谷俊明、飯島靖

対応時間：8:30～17:00

共同研究において専用窓口がある場合

なし